

各日本語教育機関
設置代表者 殿

一般財団法人日本語教育振興協会
理事長 佐藤次郎

令和6年度文部科学省委託主任教員研修の開催について(ご案内)

当協会の運営につきましては、日頃より御支援を賜り、深く感謝申し上げます。

当協会では、日本語教育機関における主任教員の資質・能力の向上を図るため、平成15年度から主任教員研修を実施し、多くの方から高い評価を受けております。本研修事業は、令和元年度は文化庁委託「日本語教育人材養成・研修カリキュラム等開発事業」を行い、令和2年度以降は文化庁委託「日本語教育人材の研修プログラム普及事業」として、東京だけでなく大阪でもテレビ会議システムによる同時開催やフルオンラインでの研修も実施いたしました。令和5年度からは文化庁委託「現職日本語教師研修プログラム普及事業」として主任研修を実施しております。新任主任教員からベテラン主任教員まで幅広いキャリアの方に対応した新たな研修プログラムにて研修を実施していますので、過去の主任教員研修にご参加の経験がある方でも受講申し込みが可能です。

今年度は新たな試みとして、より質の高い研修成果を求めて、研修の核となる2日間の集合研修を東京会場、大阪会場、福岡会場で全て対面にて実施することにいたしました。特に、東京会場は国立オリンピック記念青少年総合センターに宿泊して研修を行うので、研修に参加した仲間や講師との絆がより一層深まることを期待しております。もちろん、どちらの会場での研修も日本全国からご参加いただけます。

加えて、オンデマンドによる事前学習を多く取り入れるなど、集合研修での成果をより高めるための工夫がされております。さらに、昨年度に引き続き、各参加者が自校の教育の質向上のための取り組みを発表する機会を作り、より質の高いフィードバックが得られるように集合研修後のフォローアップも強化するなど、より密度の濃い研修プログラムとなっております。

受講希望者におかれましては、**7月17日(水)**までに、所定の応募方法にて、ご応募くださるようお願いいたします。**なお、応募期間延長中に応募された場合、課題のスタート(事前学習動画の視聴など)が遅れることをご了承ください。また、定員に達した場合あるいは手続きの時間が無くなった場合は予告なしに募集を終了します。**

研修全体の日程表【別紙1】は、当協会ホームページにも掲載しております。

記

令和6年度文部科学省委託主任教員研修

《令和6年度 主任教員研修の特徴》

- ▶ 「日本語教育の適正かつ確実な実施を図るための日本語教育機関の認定等に関する法律」の成立により、ますます注目が集まる「日本語教育の参照枠」や「日本語教師の人材育成」について理解を深める事ができる
- ▶ 現場の“今”を意識した研修プログラムにより、過去の研修受講者が再度受講しても満足できる研修である
- ▶ グループワークでは経験別や所属学校の属性別のグループを構成することにより、多様な受講者の満足度を保証する

《令和6年度 主任教員研修のねらい》

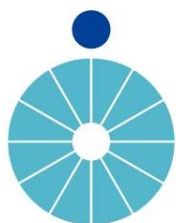
- ◆ 「日本語教育の参照枠」の理解とその活用事例を知る
- ◆ 人材育成の目的や考え方を知り、自校が求める教員像に近づけるための育成方法を考え実践する
- ◆ 今の悩みを共有できる仲間や、相談できる先輩とのネットワークを獲得する

定 員	90名 各会場定員：東京会場 50名／大阪会場 20名／福岡会場 20名
参加資格	以下の(1)～(3)のいずれかの条件を満たす方 (1) 告示校の主任教員 (2) 告示校で3年以上の常勤教員経験を有する主任教員予定者 (3) 認定日本語教育機関の審査申請済みの教育機関（新規開校含む）に所属する主任教員 ※応募者が定員を超過し、選抜の必要が生じた場合には、現職の主任教員を優先します
参加要件	・研修の全日程に参加できる方 ※参加決定後の会場変更は不可 ・オンライン集合研修において、静かで研修に集中できる環境から参加できる方 ・インターネット環境が整っており、PCで研修に参加できる方 ※スマホやタブレットからの参加は不可 ・自校にて実際に課題改善を行い、その取り組みを発表し、研修レポートとして提出できる方
研修の概要等	
研修内容	本研修は事前学習12単位と、集合研修29単位と、事後課題4単位で構成されています。 事前学習は、オンデマンド学習やレポート提出などがあります。 集合研修は、対面での研修の他、zoomによるオンライン研修を行います。 事後課題は、研修の総括としてレポートを作成します。 研修① ・開講式、オリエンテーション ・プレセッション ・セッション1「先輩に聞いてみよう！」 ・セッション2「最新の日本語教育施策を知ろう！」 (出入国在留管理庁、文部科学省、日本語教育振興協会による講義とグループ討議) 研修② ・セッション3「学校の課題、私の課題」 ・セッション4「理想の教師像から考える人材育成のデザイン」 ・セッション5「ケーススタディ “主任に求められる問題解決能力とは”」 ・セッション6「日本語教育機関の組織マネジメント」 研修③ ・セッション7「Can doで描く、私が目指す理想の主任像」 ・セッション8「『日本語教育の参照枠』－理解と活用－」 ・セッション9「より良い学校づくりのための私のアクションプラン」 研修④ ・セッション10「アクションプランの実践経過報告会」 研修⑤ ・セッション11「アクションプランの成果発表会」
全会場共通日程	■事前学習提出期限：8月25日(日) ■集合研修 研修①：9月1日(日) 12:15～17:30 オンライン ※全受講者同時参加 研修②：希望する研修会場（東京・大阪・福岡）を選択してください 研修③：希望する研修会場（東京・大阪・福岡）を選択してください 研修④：10月26日(土) 14:00～16:15 オンライン ※全受講者同時参加 研修⑤：12月7日(土) 14:00～16:45 オンライン ※全受講者同時参加

	■研修レポート提出期限：2025 年 1 月 8 日（水） 日程の詳細は【別紙 1】をご参照ください。
東京会場 日 程	■集合研修：受講者全員が宿泊研修で参加してください 特別プログラム：9 月 5 日（木） 17:00～21:30 研 修 ②：9 月 6 日（金） 9:00～21:00 研 修 ③：9 月 7 日（土） 9:00～17:35 ★東京会場限定 特別プログラムについて 東京会場で研修を受ける方を対象に、以下の 2 つのプログラムを用意しております。 1. プレセッション 9 月 5 日（木）18:30～20:00 特別講義「ここまで使えるようになった日本語生成 AI」（清風情報工科学院 校長 平岡憲人） 2. 情報交換会 9 月 5 日（木）20:00～21:30 テーマ「認定校制度、登録日本語教員、日本語教育の参照枠、人材確保、人材育成など」 3. 交流会 9 月 6 日（金）19:00～21:00 立食形式でのネットワーキングの場 【会場】国立オリンピック記念青少年総合センター https://nyc.niye.go.jp/ 東京都渋谷区代々木神園町 3-1 詳細は【別紙 1】をご参照ください。
大阪会場 日 程	■集合研修 研修②：9 月 15 日（日） 9:00～18:55 研修③：9 月 16 日（月・祝） 9:00～17:35 【会場】清風情報工科学院 日本語科 https://i-seifu.com/common/accessmap.html 大阪市阿倍野区丸山通 1-6-3 詳細は【別紙 1】をご参照ください。
福岡会場 日 程	■集合研修 研修②：9 月 22 日（日） 9:00～18:55 研修③：9 月 23 日（月・祝） 9:00～17:35 【会場】GAG 日本語学院 https://gagonline10.wixsite.com/gag-japanese-languag 福岡市博多区山王 2 丁目 11 番 2 号 詳細は【別紙 1】をご参照ください。

研修実施者 一覧 (五十音順)	平岡 憲人 委員長 (清風情報工科学院 校長) 青柳 恵 委員 (ヒューマンアカデミー日本語学校東京校 教務主任) 一条 初枝 委員 (ヨシダ日本語学院 校長) 内田 さつき 委員 (コミュニカ学院 校長) 亀田 美保 委員 (大阪 YMCA 日本語教育センター センター長) 國田 久子 委員 (にんじんランゲージスクール 主任教員) 栗本 久美 委員 (平成医療学園専門学校日本語学科 学科長 (教務主任)) 澤井 美智子 委員 (大阪みなみ日本語学校 教務主任) 神 恵介 委員 (新世界語学院 校長) 角田 謙一 委員 (MJ 日本語教育学院 教務主任) 高田 薫 委員 (ヒューマンアカデミー日本語学校東京校 主任教員) 辻 和子 委員 (ヒューマンアカデミー(株) 国際教育事業部教室 日本語教育顧問) 土屋 理恵 委員 (清風情報工科学院 副校長) 戸川 朝子 委員 (南大阪国際語学学校 校長) 野村 智恵 委員 (前ヨシダ日本語学院教務主任) 山田 貴彦 委員 (ミッドリーム日本語学校 校長) 奥村 三菜子 講師 (NPO 法人 YYJ・ゆるくてやさしい日本語のなかまたち 副理事長) 加藤 早苗 講師 (インターカルト日本語学校 校長) 神吉 宇一 講師 (武蔵野大学大学院 教授) 佐久間みのり 講師 (横浜デザイン学院日本語学科 教務主任) 竹田 悦子 講師 (コミュニカ学院 顧問) 山本 弘子 講師 (カイ日本語スクール 代表)
研修参加費	15,000 円 (消費税込) ※東京会場参加者については、別途宿泊費及び食費等 (16,000 円程度) が発生します。 詳細な費用については、参加決定者に対して別途お知らせいたします。
研修レポート	A4 判で 2 枚 (2401～3200 字) の研修レポートを Word で作成し、Word と PDF 化したものを所定の方式で 2025 年 1 月 8 日 (水) までに提出していただきます。
修了要件	以下の要件(1)(2)(3)の全てを満たすこと (1) 成果発表会 (セッション 11) で最終的な研修成果を定められた規定に従い発表し、SABC 評価の内、B 以上の評価を得ること (2) 成果発表会後に研修レポートを定められた規定に従い提出し、SABC 評価の内、B 以上の評価を得ること (3) 全 45 単位時間中、35 単位時間以上 (1 単位時間は 45 分) を取得すること
単位認定条件	・事前課題においては、課題の指示に従って学習が完了していること ・集合研修①～⑤においては、各セッション毎に 90%以上出席していること ※移動しながらの研修受講や、他の業務と並行しての研修受講は単位として認めない
応募方法	<u>希望する研修会場によりお申し込みフォームが異なります。</u> 受講希望者は、参加を希望される会場の Google フォームよりご応募ください。 《東京会場》 https://forms.gle/6uQiuu1hXwePqSma8 

	《大阪会場》 https://forms.gle/GQkqq7EyeBoWji6W6 《福岡会場》 https://forms.gle/WDTHP2aZtukgwpPd9 ※Google フォームを受理後、3 営業日以内に日振協から返信します。返信が無い場合は、届いていない可能性がありますので、電話でお問い合わせください。 ※研修参加費等の支払方法・金額（振込みに限る）については、追って受講決定者にご連絡いたします。
成果	修了された方には修了証書を発行し、修了者名簿は文科省 HP に掲載されます。また、日本語教師として研修修了を履歴に明記することができます。 なお、本人の希望で文科省 HP への掲載は不掲載にもできます。



文部科学省



NISSHINKYO

担 当：評価部 野田・塩原
 T E L：03-6380-6557
 E メール：shuninken@gmail.com